

平成 28 年 11 月 1 日

PRESS  
RELEASE国立大学法人  
徳島大学

## エンゲル・松江記念市民音楽祭—ドイツ橋などに関する講演も—

来たる 11 月 3 日(木)の 13 時 30 分より、常三島キャンパス内の地域連携プラザ「けやきホール」において、上記音楽祭が開催されます。

演奏は、徳島エンゲル楽団・合唱団、徳島大学学生有志(交響楽団・リーダークライスほか)によるものです。「徳島エンゲル楽団」の名は、ちょうど 100 年前の板東俘虜収容所にいたプロのヴァイオリニストで捕虜の楽団「エンゲル・オーケストラ」の指揮をしていたパウル・エンゲルに由来します。彼は、音楽好きの徳島市民の演奏も指導しましたが、この弟子たちの結成したのが「徳島エンゲル楽団」という名の合奏団でした。今回は昨年を引き続き、この由緒ある名を引き継いだ市民楽団が中心となって、板東や徳島の収容所で捕虜たちが演奏した曲や、旧「徳島エンゲル楽団」が演奏した曲を、再現演奏会として取り上げます。

また、佐藤征弥准教授(徳島大学生物資源産業学部)による講演「ドイツ橋とめがね橋はなぜ作られたのか? ドイツ兵による公園作りの全貌」もあります。佐藤先生は昨年、独自の実地調査に基づいて、大麻彦神社周辺に現存する「ドイツ橋」「めがね橋」のみならず、付近の道路その他の作成も捕虜たちが行ったことを実証され、このことは新聞にも取り上げられました。その他に紙芝居、ドイツ兵の慰霊碑を守り続けている高橋敏夫氏のインタビューも予定されています。

### (報道概要)

「エンゲル・松江記念市民音楽祭」のプログラムは以下のとおり。

日時 11 月 3 日(木) 13:30~16:30

場所 徳島大学常三島キャンパス 地域連携プラザ けやきホール

#### 1. 講演

ドイツ橋とめがね橋はなぜ作られたのか? ドイツ兵による公園作りの全貌

徳島大学生物資源産業学部准教授 佐藤征弥

#### 2. 演奏会 第 1 部

徳島俘虜収容所でハンゼンと徳島オーケストラが演奏した曲

(1) モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第 1 楽章

(2) イヴァノヴィチ ドナウ川のさざなみ

板東俘虜収容所でハンゼンやエンゲルが演奏した曲

(3) プッチーニ 歌劇「トスカ」より「歌に生き愛に生き」

(4) ビゼー 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」

3. 紙芝居

「ばんどうのコスモス～板東俘虜収容所と赤十字」

(日本赤十字社徳島県支部)

4. 演奏会 第2部

エンゲルの指導を受けて徳島エンゲル楽団が演奏した曲

(1) 美しき天然

(2) 荒城の月

(3) 歓喜の歌

(板東での第九全曲日本初演の2年前に徳島市で初演)

戦後の友好復活を記念

(4) インタビュー

(「愛の墓守」についてのエピソード) 高橋敏夫さん

(5) 友愛の花 (高橋敏夫作詞 新川清作曲)

演奏：徳島エンゲル楽団・合唱団、徳島大学学生有志 (交響楽団・リーダー  
クライスほか) 指揮：岡山茂幸 独唱：岡村由香

パネル展示

13:00～17:00

地域連携プラザ 地域交流スタジオ(1階)・地域連携実習室(2階)

「板東俘虜収容所の記憶 1917～1920年」展 (鳴門市ドイツ館提供)

主催：徳島大学総合科学部ドイツ兵俘虜研究会

後援：エンゲル・松江記念市民コンサート委員会、徳島新聞、NHK 徳島放送局、  
四国放送、徳島市、徳島市教育委員会、ドイツ連邦共和国大阪神戸総領  
事館、文化立県とくしま推進会議、文化の力によるまちづくり支援事  
業助成

お問い合わせ先

部局名 総合科学部他

責任者・担当者

井戸慶治、南川慶二、石川栄作

電話番号 088-656-7138

メールアドレス

ido.keiji@ias.tokushima-u.ac.jp